



議題、会議結果、会議の経過及び資料名

**【議題】**

(1) 社地域小中一貫校愛称について

**【報告】**

(1) 社地域小中一貫校建設工事等の進捗状況について

(2) 今後のスケジュールについて

**【会議結果】**

(1) 資料に基づき、審議しました。

**【会議の経過】**

**1 開会**

教育長あいさつ

**2 議事**

**(1) 社地域小中一貫校愛称について**

(委員長)

本日の会議内容でございますが、社地域小中一貫校の愛称ということで、270点の応募がございました。既に学校運営委員会で5点を選出していただいております。本日この会で1点選出をしていただくことになっておりますので、ぜひとも忌憚のない御意見の下、皆さんの総意で1点の選出をお願いいたしたいと思っております。

それでは、社地域小中一貫校の愛称について、学校運営委員会の代表から報告をお願いします。

(委員)

失礼いたします。協議もありますので手短かに説明したいと思います。

1枚次第をめぐっていただき、資料の1を御覧ください。

2月15日に開催した第6回の学校運営委員会の概要をご報告します。

愛称候補として、270点の応募がありました。そのうち児童・生徒からの応募が231点ということになりました。その中から愛称の選定要綱に基づき、投票の結果、前のボードにも貼ってありますように5点を選定したので御報告いたします。

1点目が社うれしの学園、2点目がやしろ学園、3番目が漢字で社学園、4点目が社中央学園、5点目が社みらい学園です。

会議の詳細な内容につきましては、資料2として協議結果を作成いただいておりますので参考にしていただければと思います。

以上です。

(委員長)

ありがとうございました。

それでは、学校運営委員会で選定されました5点を紹介しましたが、最終1点を選定していただきたいと思っております。

その前に、もう一度選定要領を確認したいと思いますので、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、選定に入ります前に、選定要綱の確認をさせていただきます。

お手元の資料5を御覧ください。

資料5ですが、社地域小中一貫校愛称候補選定要綱として定めております。

1、選定基準としまして、漢字、平仮名及び片仮名により表記されたもので、次の条件の1つ以上に該当するものとする。

- 一つ、地理的にイメージできるもの
- 一つ、歴史、文化、特徴を表したもの
- 一つ、住民の理想や願いを大切にしたもの
- 一つ、住民が親しみやすいもの
- 一つ、そのほか社地域の新しい小中一貫校としてふさわしいもの

2、選定方法としまして、社地域小中一貫校の愛称は、応募作品の中から社地域小中一貫校としてふさわしい候補名を原則として学校運営委員会における投票により3から5点程度選定し、これを開校準備委員会に報告する。その後、学校運営委員会から報告のあった候補名から原則として開校準備委員会における協議により候補1点を選定するものとする。

3、選定に当たっての留意点として、1つ目、応募数は、社地域小中一貫校の愛称の選定に当たって影響を及ぼさないものとする。2つ目、社地域小中一貫校の愛称の選定に当たって、応募作品の一部を修正する場合がある。

この選定要綱に基づきまして本日1点の最終候補を選定いただきたいと思います。今後、選定されました愛称を元に校歌等、様々な検討を進めていく予定にしております。

以上でございます。

(委員長)

ありがとうございました。

それでは、事務局の説明が終わりましたので、選定に入ります。

再度申し上げますが、今提示した5つの名称の中から1点を選んでいただくということになります。よろしく願いいたします。

何かご意見、質疑のある方はいらっしゃいますか。

協議の結果につきましては、資料2を御覧ください。これらの愛称の意味や込められた思いなどはそこに記載があります

何かご質問、ご意見はございますか。

選考方法に関してやそのほか何かお考えになっていたことがあれば発言をお願いします。

(委員)

これがいいと思っても自分の口からそれでいこうというのは難しいものがある。どういう形がいいのか、悩んでいるところです。東条学園の時も多数決で書いて選んだ記憶があるのでそのような形を採ることになるのかなと思います。

(委員長)

今、委員の方から意見は言いにくいという選定方法についてのご意見がございました。ほかに何かございませんでしょうか。

[意見なし]

それでは、意見を言いにくいということなので選定方法について協議をさせていただきたいと思います。

今、東条学園の例で投票によって決めるというお話がございましたが、それ以外の選定方法の提案はございませんか。

それでは、投票で得票数の多いものを開校準備委員会の中の決定事項ということで一つ選定をさせていただきます。

異議はありませんか。

[異議なし]

それでは、投票にさせていただきます。

(事務局)

それでは、協議の結果により投票ということで準備を進めたいと思います。

準備をする間に、学校運営委員会から選考いただきました5点の愛称候補につきまして、せっかくなので応募された方の思いについて簡単に御紹介をさせていただきたいと思っております。

お手元の資料3になります。

多くの愛称を御応募いただきました。今回の5つの候補が選定されておりますけれども、まず88番、ページで言いますと5ページでございます。

5ページ88番の社うれしの学園

- ・社小、中、どちらも校歌にうれしのが入っているから
- ・社中辺りをうれしという言葉が関係していそう
- ・場所が社の嬉野付近にあって、うれしのは平仮名のほうが親しみやすいと思ったから

というような理由で応募されております。

92番の平仮名のやしろ学園

- ・社地域の小中一貫校であり、やしろと平仮名で書くことで誰にでも読みやすく親しみやすい学校になることを願ってつけました

- ・地理的から考えて社は外せない。平仮名にすることにより柔らかさ、温かみを感じられる

- ・漢字にすると「しゃ」と読む人もいる（地元以外の人）ので、平仮名がよい
- ・シンプルで言いやすいから。社地域の小・中学校なので社の名を残したいと思いましたが、また、平仮名表記にしたのは、「学園」とのバランスがよいのではないかと感じたからです

という御意見もありました。

93番の漢字の社学園ですが、

- ・5つの小学校が合体し、社地域にちなんで社学園にしました。東条学園と聞いたときすごくいい感じだなと思ったから。東条学園という愛称が先行であるので、社は社学園がよいと思えます

- ・何より社という名前を残したいです
- ・近くに小、中、高と社がつき、統一されてよい
- ・社地域の小中一貫校だからです
- ・旧社地区の小、中学校が一つになる、東条地区の学校が東条学園になった、2つの理由で社学園を提案する

- ・土地名を入れることで覚えやすい、なじみやすい愛称
- ・社小学校で社とついているから社学園がいいと思った、学園という漢字や名前も覚えやすいから。

- ・ほかの社地域の学校の人たちが来るからその名前にした。社の近くにいろいろな小学校があるから

- ・社地域にいろいろなところから来た小学生と、社中学校の人たちが交わってできるから

- ・まとまってて言いやすいし、響きがいいから。みんなが親しみやすく呼びやすいように。

- ・社中学校の社を残しつつ、学園で小から中までの幅広さと規模の広さを表現するようにしました。小中一貫校なので、学園という名前がふさわしいと思ったから。

- ・簡単で覚えやすく一番しっくりくるかなと思ったから。社地域の小・中学校のみんなが頑張っていく。

といった意見がありました。

7ページへお進みください。117番の社中央学園ですが、

- ・5つの小学校区が集まるので社だけではなく、社中央という愛称にしました。
- ・旧社町の中央に母校の小学校が集まるから。
- ・旧の社町の社という字を残したかったのと、加東市の中央に学校ができるから。こういった思いで御応募いただいております。

131 番の社みらい学園、  
・みらいは平仮名です。夢と希望のある子どもたち、小中一貫でさらに未来へ向けて頑張ってほしいという思いと社の地名を合わせました。未来と言えば創造、今よりもいろいろなことをできればいいと思えるからです  
以上、社という地名に対する思いや、そういった選定要綱に則って御応募いただいたかと思えます。

(委員長)

ありがとうございました。

それでは、投票に際して事務局から注意事項等ございませんか。

(事務局)

今お配りしております白紙に番号を記入していただけたらと思えます。社うれしの学園が 88 番、やしろ学園、平仮名の分になりますが、92 番、社学園、漢字の社学園が 93 番、社中央学園 117 番、社みらい学園 131 番、この番号で投票をよろしく願います。

(委員長)

それでは、番号を書いて投票をしていただきたいと思えます。よろしく願います。

[事務局票回収]

(事務局)

それでは、投票していただきました番号を読み上げさせていただきます、前の黒板にその票数ですね、正の字で記入をさせていただきます。よろしく願います。

93 番、93 番、92 番、92 番、93 番、93 番、93 番、93 番、92 番、92 番、131 番、93 番、93 番、131 番、93 番、88 番、88 番、92 番、131 番、92 番、88 番、93 番、131 番、93 番、93 番、93 番、93 番でございます。

(委員長)

集計していただいてよろしいですか。

(事務局)

今日御出席の委員数は 27、投票総数 27 名です。

(委員)

読み上げてもらえますか。

(事務局)

88 番社うれしの学園 3 票、92 番やしろ学園 6 票、93 番社学園 14 票、117 番社中央学園 0 票、131 番社みらい学園 4 票でございます。

投票の結果は以上となっております。

(委員長)

ありがとうございました。

それでは今、投票の結果、報告されましたとおりでございます。社地域小中一貫校の愛称としましては、93 番の社学園を開校準備委員会の意見としまして教育委員会へ報告をさせていただきます。

それでは、愛称につきましては以上とさせていただきます。

### 3 報告事項

#### (1) 社地域小中一貫校建設工事等の進捗状況について

(事務局)

それでは、社地域小中一貫校建設工事等の進捗状況について御報告させていただきます。

資料 6 番をご覧ください。開校準備委員会の皆様からも御意見をいただきながら完成を目指してきました実施設計における配置計画図となっています。年度内の完成を目指しまして最終チェックを行っているところでございます。

配置計画について改めて御説明をさせていただきます。

図面の左側、やしろのにわ（中庭）という場所ですが、この場所を囲む形で、北側に既存の校舎棟があり、西に交流棟、南に増築校舎棟、東に屋内運動場棟を新しく建設いたします。既存の校舎棟、現在の社中学校の校舎は長寿命化の改修工事を行います。また、教職員が増えますので改修工事に合わせて職員室を増床いたします。

交流棟は地域交流室や図書室、特別教室を配置し、増築校舎棟には小学生の普通教室、特別教室、特別支援教室等を配置いたします。

屋内運動場棟は、1階に小体育館と武道場を、3階部分に大体育館を配置いたします。

また、図面下側に現在の300メートルトラックの大グラウンド、野球場があります。

図面中央右側に大小のプールを備えたプール棟、その上に200メートルトラックの小グラウンド、テニスコート6面を整備いたします。

続きまして、資料7を御覧ください。

社地域小中一貫校の事業計画となっています。上の①工程計画、下の②工程図、こちらがリンクをしています。グレーのところですが、先行工事としまして現在①のカセ池造成工事、②のトイレの洋式化工事を行っています。①のカセ池造成工事についてですが、令和3年9月から工事に着手しています。令和3年11月に、兵庫県の指導により先行工事であるカセ池造成工事が社地域小中一貫校建設工事の一連工事とみなされ、土壌汚染対策法の届出が必要となり、工事を一時中断しておりました。1月上旬に工事を再開しまして、再開後は順調に工事が進んでおります。5月末の完成を予定しております。

②のトイレの洋式化工事ですが、3月末の完成を予定しています。

③の既存建屋の解体ですが、社中学校のプール棟、武道場、部室棟を先行解体いたします。そのため、仮設の部室棟を新設いたします。こちらの工事ですが、現在工事の入札が終わっておりまして、業者との契約前でございます。工期は今年の7月末までとしております。

続いて、赤色の④から⑧になりますが、本体工事、社地域小中一貫校建設工事を令和4年7月から令和6年3月まで2か年にわたり行います。現在入札の準備を行っており、3月中旬に入札公告を予定しております。6月末の契約を予定しておりまして、7月から工事着手の予定でございます。

④ですが、増築校舎棟の新設、体育館、交流棟も含みまして新設をいたします。あと、テニスコートの整備、300メートルトラックの整備を行っていきます。

⑤のところにつきましては、引き続き増築校舎や屋内運動場の工事を行いまして、新しくテニスコートを5面整備するので、既存のテニスコート4面を撤去いたします。

⑥につきましては、体育館、屋内運動場棟が完成するので、その後、供用を開始し、現在の体育館の解体に入る予定です。交流棟や増築校舎棟は引き続き建設を行いまして、新たにプール棟の工事にも着手します。また、テニスコートをもう1面整備を行っていきます。

⑦につきましては、外構工事、仮設部室棟の撤去、南側のバス停の整備を行っていきます。現在のカセ池造成工事と同様に、工事用の車両が南門から搬出入しておりましたが、この⑦のときから現在の正門辺りを工事用進入路としていくということになっております。

⑧番ですが、北駐車場の整備並びに北側バス停の整備を行っていく予定でございます。増築校舎、部室棟、プール棟の供用を開始します。令和6年3月になりますが、交流棟と増築校舎棟の完成後に、増築校舎に中学生が一旦引っ越しを行います。

続きまして、緑色の⑨ですが、社中学校の既存校舎の長寿命化改修工事ですが、令和6年7月から令和7年1月までを予定しております。一旦中学生が増築校舎に引っ越しを行って学校の生活を送っておりますので、空いている既存校舎を長寿命化の改修をしていきます。既存校舎の改修工事の完成後ですが、中学生が既存校舎に戻りまして、社地域の5つの小学校から増築校舎に引っ越しを行っていきます。令和7年4月に社地域小中一貫校の開校を予定しております。

以上が現在の事業計画となっております。

この事業計画ですが、2月21日時点の計画でございます。今後変更の可能性もありますので御了承をお願いいたします。

4か年にわたります長期間の工事となります。社中学校と十分に調整をさせていただきます。学校生活を送る生徒の安全はもちろんのこと、工事内においても安全を第一に工事を進めていきます。また、工事期間中は近隣住民の安全にも十分配慮をいたします。

以上で社地域小中一貫校建設工事等の進捗状況についての報告とさせていただきます。

(委員長)

ありがとうございました。

それでは、建設工事の進捗状況について御意見、御質問等がございますか。

ございませんでしょうか。

(委員)

現在のカセ池造成工事ですが、①の部分だと思いますが、この資料の計画通りに完了すると本体工事には支障ないという理解でよろしいですか。

(事務局)

新聞でも発表になっておりますが、兵庫県との土壌汚染対策法の調整が生じまして、その影響で中断期間があり、工期が延長となってしまいました。カセ池の工事につきましては5月末まで工期を延長しており、先行解体工事に関しても7月末までの工期としております。一番重要な本体工事に影響のないように工事調整も行い、本日説明させてもらいました工程表のとおり段取りよく進めていきたいと思っております。

以上です。

(委員長)

ありがとうございました。

他にございませんでしょうか。

(委員)

直接工事に関することではないが、中学校の校長先生並びに教育委員会の方にお願ひがあります。この工事の一連の流れを見ると、かなり社中学校の校内が慌ただしい状況になっていくと思われまふ。今、息子が中学校に通つていまふて、学校の授業、勉強を見てみると、授業の量もかなり増えていまふて、学校の勉強も難しくなつていまふて。そういった中で今後も工事が行われると思うが、生徒の授業の妨げにならないように、しっかりと学校生活が送れるようにしていただきたい。工事に関する安全はもちろん、特に受験を控えている中学校3年生は、入試本番で小中一貫の工事の影響を考慮されるということはないはずでふ。一回限りの勝負になりますので、そういった点を十分に配慮していただきながら整備計画を進めていただけたらと思ひまふ。

以上です。

(委員長)

事務局、答弁等をお願いしまふ。

(事務局)

まさしく言われていまふとおひです。この工程表を考えるに当たりまして、安全を確保、また中学生の生活には影響はないということは絶対ないと思ひまふ。できる限り影響のないような工程表というのを考えていまふ。仮囲いラインの赤い点線があると思ひまふ。これが工事と学校生活を遮断する囲いの部分で、これをきっちり守り、あと音や振動をできる限り少なくできる、影響を少なくできるように工事も進めたいと思ひまふので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

(委員長)

ありがとうございました。

中学校の校長先生から何かございませんでしょうか。

(委員)

今トイレ洋式化工事と、それからカセ池と2つの工事が並行して行われているけれども、特に音や車両、安全面に配慮して工事を進めていただくように工程会議を行い、その都度不具合のあるところについては改善をしていただいているところです。今後、建屋の取り壊しにかかる大きな音や大型車両等が心配されますが、これまでと同様に、不具合があった場合にはその都度事務局に要望を上げていきたいと思っております。

(委員長)

ありがとうございました。

ほかに建設工事の進捗状況、あるいは建設のことに對して何かございませんか。

[意見なし]

## (2) 今後のスケジュールについて

(委員長)

次に、今後のスケジュールについて事務局お願いします。

(事務局)

何点が説明・報告をさせていただきます。

今決定した愛称に関しましては、3月25日に予定されている定例教育委員会に報告、上程をさせていただきますして正式に決定になればと思っております。正式に決定になりましたら、ホームページや広報等で周知をさせていただくことを考えております。

この愛称というのは、今後校歌などに影響を及ぼすものにもなります。

また、条例に基づく正式な校名に関しましては教育委員会で決定します。ただ、東条で例えると、皆さんに東条学園という愛称を選んでいただき、その後、正式名を考えるに当たりまして、皆さんの総意の中で選んでもらいました愛称を入れようという流れから東条学園小中学校という名前になりました。この愛称は、皆様に将来にわたりまして親しんでいただけるように私共も活用していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

徒歩での通学路に関しまして、本来なら今年度で協議をしたいという段取りでしたが、新型コロナウイルスの関係もありまして、思うように会議の開催ができませんでした。そのこともありまして、前にも御報告させていただきましたが、令和4年度への継続ということで、この3月末に小学校から案をいただきまして、整理したものを学校運営委員会や開校準備委員会に諮っていかうと考えております。まず、令和4年度に関しましては先ほど言いました校歌、あと校章、制服の協議を行います。新型コロナウイルスの関係で予定が押してきており、皆様もお忙しい中で思うように会議が開けるかどうか分からないですが、御協力をお願いしたいと思っております。

令和4年度の1回目の開校準備委員会に関しましては、実施設計の内容を御報告させていただきますたいと考えております。

本日の会議が本年度最後の会議となっております。役職等で出席されている委員もいらっしゃいますが、できる限り継続していただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

以上でございます。

(委員長)

今後のスケジュールについて何か意見や質問はございませんか。

今、来年度の1回目の開校準備委員会のお話が出ましたが、事務局としては予定されておるのは何月ぐらいからということをお教えいただけるとありがたいです。

(事務局)

実施設計については3月末までの工期になっております。それから成果品をいただいた後に説明ということになります。説明をするに際して、議会への報告や、開校準備委員会の報告もさせていただきます。また、定例教育委員会でも報告させていただきますが、



その関係から5月になるかと考えております。よろしくお願ひいたします。

(委員長)

それでは、今後のスケジュールについては以上とさせていただきます。

それでは最後に、今までの協議の中での意見等でも構いませんので、その他何かございませんでしょうか。

[意見なし]

それでは、ないようですので進行を事務局にお返しいたします。お願ひします。

#### 4 閉会

##### 【資料名】

- 資料1 第6回学校運営委員会 報告
- 資料2 第6回学校運営委員会 協議結果<概要版>
- 資料3 社地域小中一貫校愛称 公募結果概要
- 資料4 愛称募集要項
- 資料5 愛称候補選定要項
- 資料6 社地域小中一貫校 配置計画図
- 資料7 社地域小中一貫校整備事業 事業計画

令和4年5月6日